

# 上野地区まちづくりの進捗状況について

## 上野駅周辺の都市空間再編の方向性について



# 上野らしい国際競争力と強化の方向性

## 国際競争力に寄与する上野固有の魅力 文化・芸術施設の集積

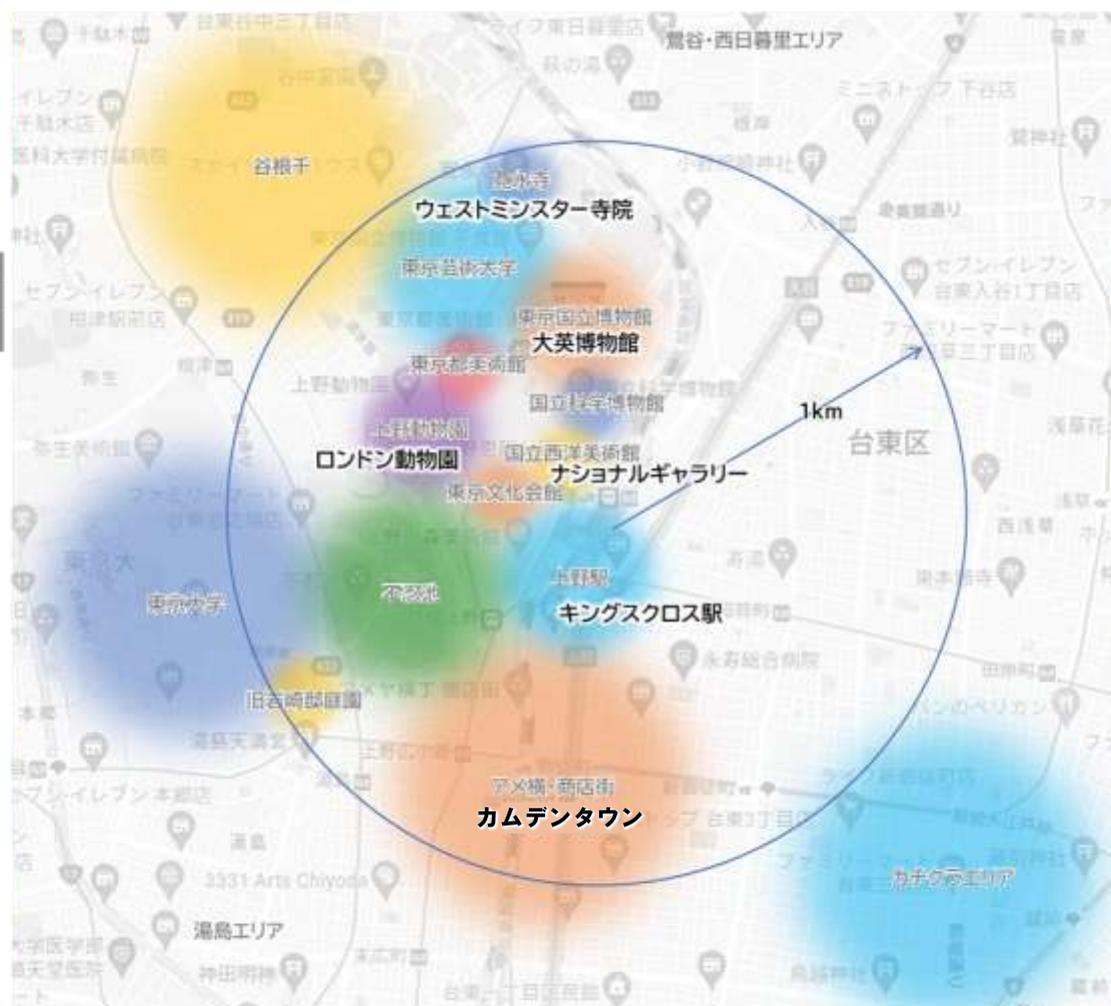
延床面積  
(下図施設の合計)  
**18.4万㎡**

公園面積  
(各施設敷地含む)  
**約80万㎡**

収蔵品数  
**約400万点**

年間来場者数  
**1,300万人以上**

ロンドンに点在する施設に類似する要素や機能が「全て徒歩圏内に立地」している  
「方向性の違う都市的な要素や機能が極めて狭い範囲に集積しているまちは稀有」 (上野新論/五十嵐 泰正 より)



出典：「上野新論/五十嵐 泰正」を図式化

# 上野らしい国際競争力と強化の方向性

## 国際競争力に寄与する上野固有の魅力

エリアのコアとなる施設において新たな取り組みが動いている

**寛永寺** 創建400周年 根本中堂天井絵「叡嶽双龍」



**東博** 「TOHAKU OPEN PARK PROJECT」



**JR東日本** 上野駅「文化創造HUB」



**東京藝大** ゲーム・インタラクティブアート専攻を新設



# 上野らしい国際競争力と強化の方向性

## 上野らしい国際競争力 江戸ルネサンス都市再生

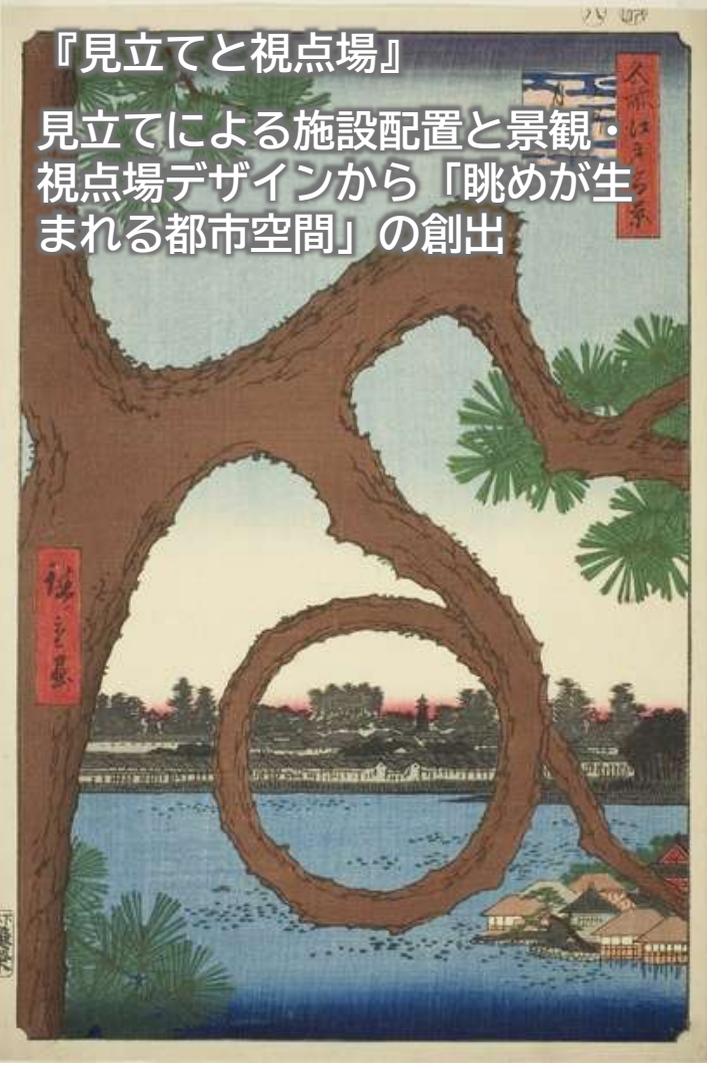
江戸から学ぶ都市デザインの考え方を未来の上野らしさに継ぐ



「安政6(1859)年の本郷・上野」



東都三十六景「上野満花の詠」ほか



名所江戸百景 上野山内月のまつ

## 上野らしい国際競争力と強化の方向性

## 世界からみた東京が強化すべき分野

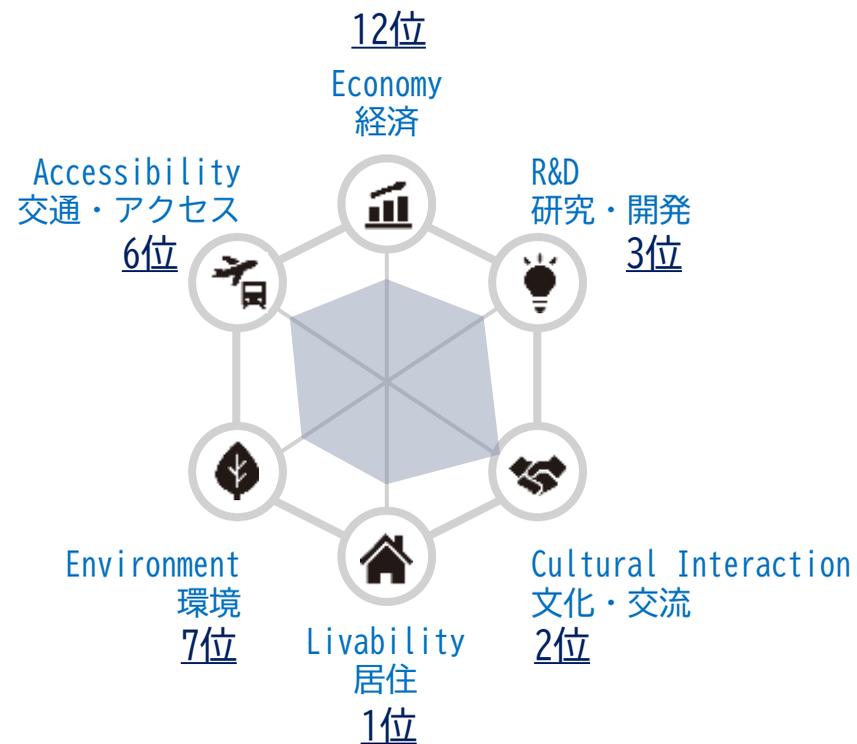
世界トップクラスの文化に相応しいまちづくりを推進

## 世界の都市総合力ランキング—2位—

ロンドン	東京	ニューヨーク	パリ
1642.2	1535.1	1476.6	1444.6

世界の主要都市の「総合力」を経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、流通・アクセスの6分野で複眼的に評価し、順位付けしたもの。ランキングの構成要素を分析することで強み・弱み、課題の把握が可能

出典：世界の都市総合力ランキング（概要版2025.12）／森記念財団都市戦略研究所



## 「文化・交流」構成要素

赤字：上野の強み  
緑字：上野の伸び代

発信力	国際コンベンション件数、文化イベント開催件数、コンテンツ輸出額、アート市場環境
観光資源	観光地の充実度、世界遺産への近接性、ナイトライフの充実度
文化施設	劇場・コンサートホース数、美術館・博物館数、スタジアム数
受入環境	ホテル客室数（上野らしいコンセプトホテル含む）、ハイクラスホテル客室数、買物の魅力
外国人受入実績	食事の魅力、外国人居住者数、外国人訪問者数



ナイトライフの充実の例



ハイクラスホテルの例

## 上野らしい国際競争力と強化の方向性

## 東京全体の魅力を高める具体的な戦略 例

「国際会議」×「文化・芸術」の連携・共創による新たな魅力づくりの可能性

国際医薬経済・アウトカム研究学会  
(ISPOR)東京プリンスホテル  
(港区芝公園)

2025. 9. 28~30

約1,000名

うち海外約650名

第19回国際粒子加速器会議  
IPAC2028組織委員会東京国際フォーラム  
(千代田区丸の内)

2028. 6. 4~9

約1,500名

うち海外約1,300名

Geochemical Society

東京国際フォーラム、  
JPタワーホール&カンファレンス  
(千代田区丸の内)

2028. 7. 9~14

約4,200名

うち海外約3,000名



出典：東京都HP

&lt;例 アフターパーティーでの活用 上野の文化施設のユニークベニュー等&gt;

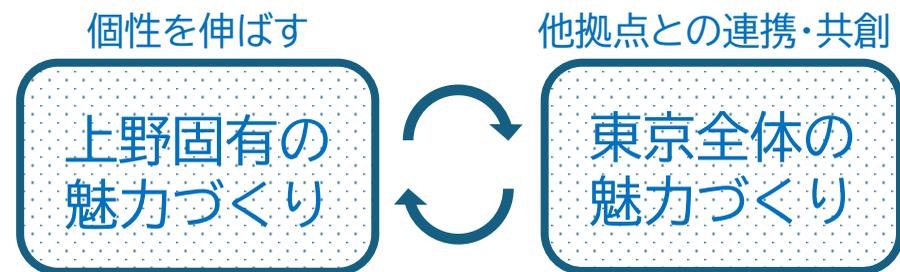


出典：TOKYO UNIQUE VENUES

## エリアの魅力を向上する上野駅周辺の都市空間の再編



## 上野らしい国際競争力の強化



## エリアの魅力を向上する・支える「場」の創出 上野駅周辺の都市空間の再編

### 江戸ルネサンス都市再生

[杜をひろげる具体的な3つの視点]

グリーンインフラ  
エコロジカルネットワーク

駅を起点としたひと中心の空間  
ウォーカブルまちづくり

都市軸の強化  
広域圏における都市再生

## 上野駅周辺の現状

ひと中心の分かりやすい都市空間、国際都市の顔に相応しい駅前空間になっていない



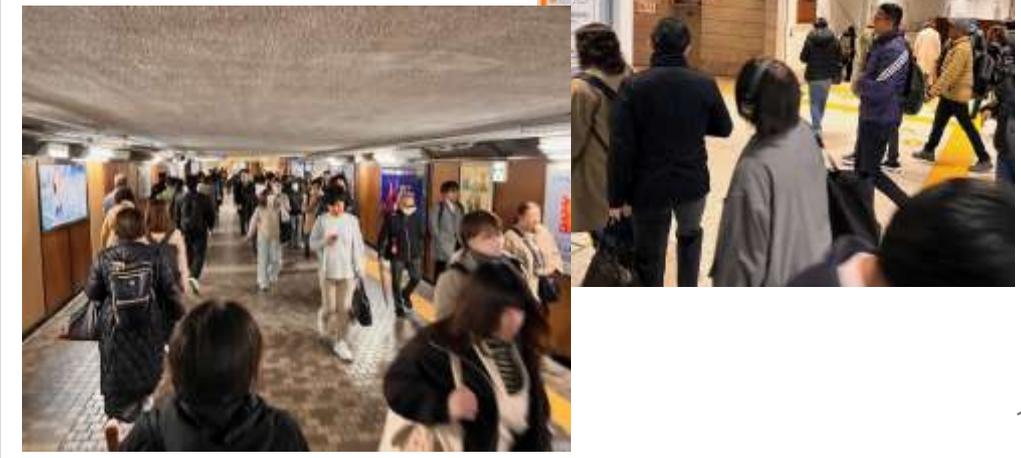
管理者によって駅周辺サインの表示方式が異なり分かりにくい



各鉄道の乗り換え動線が複雑で分かりにくい

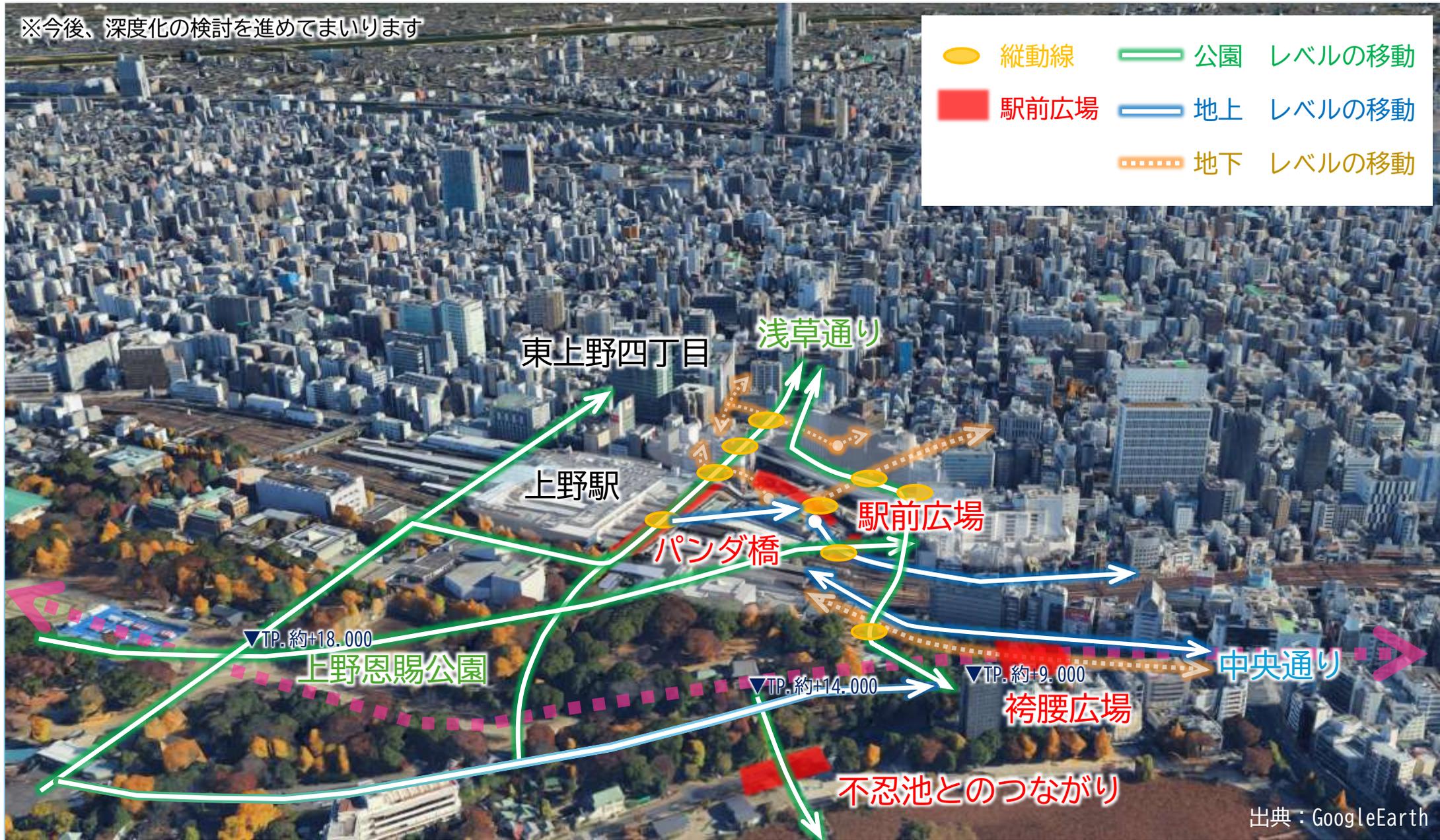


改札周辺に滞留空間が少なく通路もゆとりがない



## 例：上野の将来像 公共空間、民有地一体での歩行者ネットワークの形成（素案）

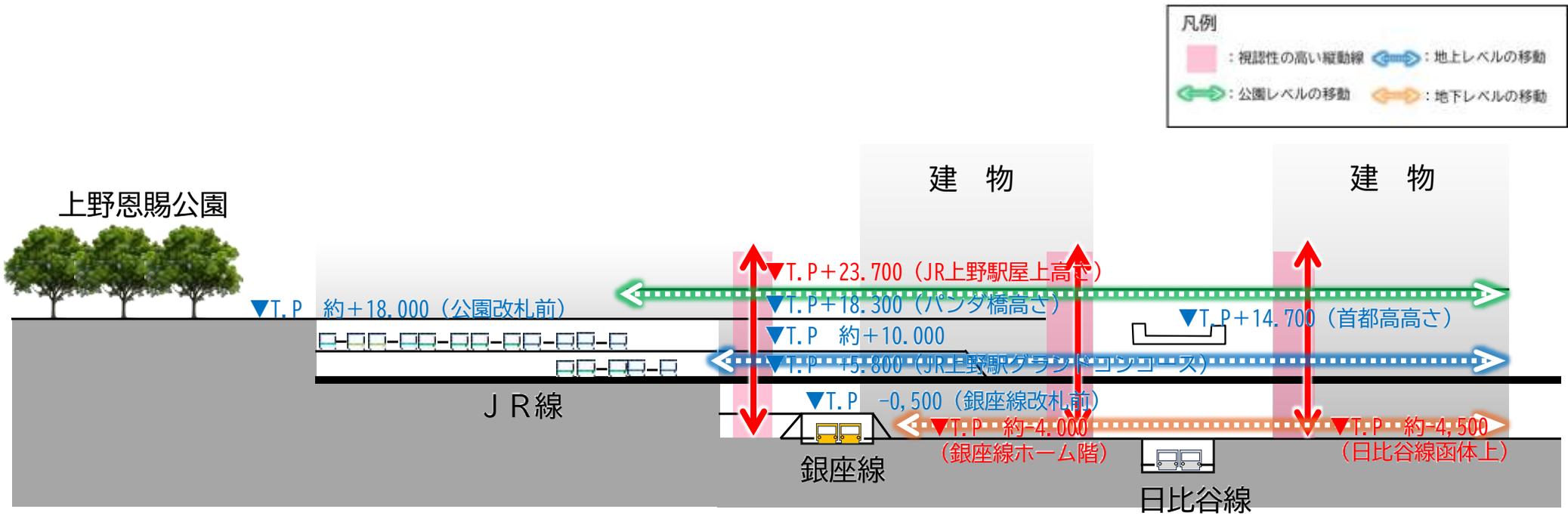
※今後、深度化の検討を進めてまいります



## 例：上野の将来像 公共空間、民有地一体での歩行者ネットワークの形成（素案）



## 例：上野の将来像 公共空間、民有地一体での歩行者ネットワークの形成（素案） 杜をひろげる 都市機能の誘導と歩行者ネットワークの形成



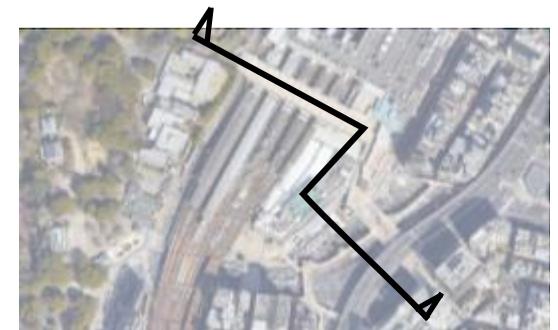
※今後、深度化の検討を進めてまいります

### <駅施設>

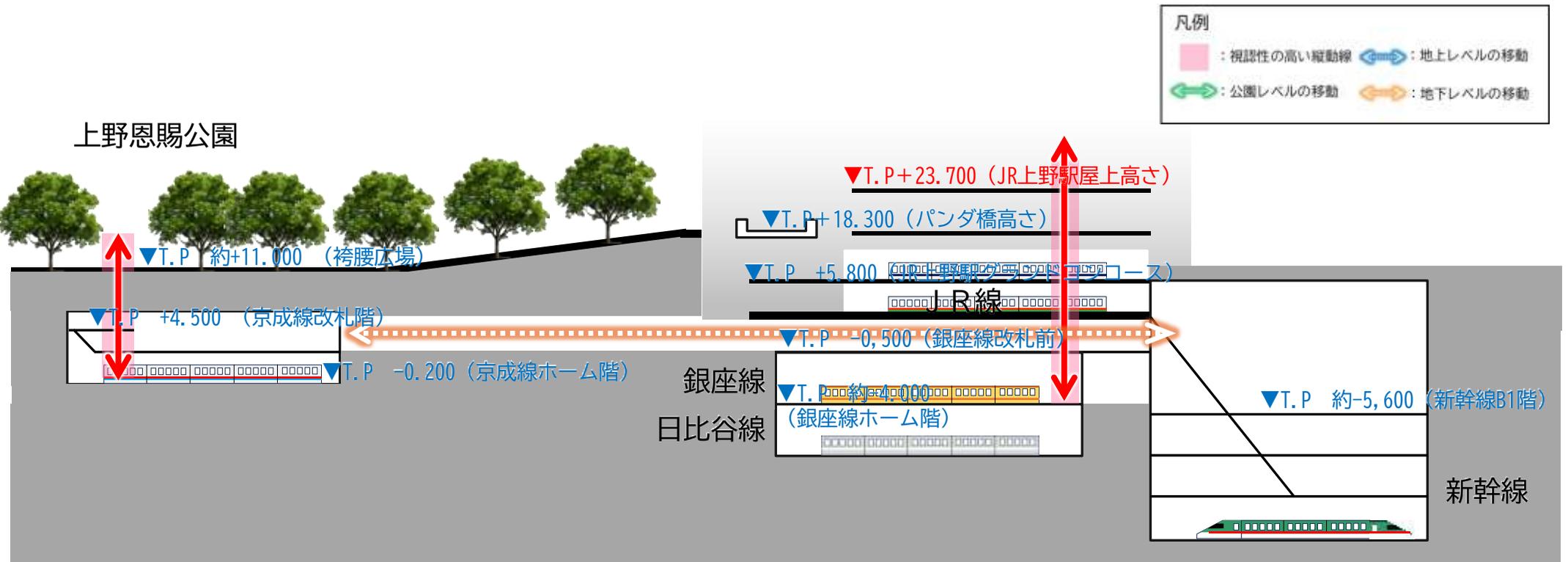
- ・ 地上、地下における広場空間の創出
- ・ 乗換えコンコースの充実

### <歩行者ネットワーク>

- ・ 杜とまちの連続性、一体性を確保する東西通路を拡充
- ・ 杜とまちの高低差を結ぶ縦動線を再開発建物空間を活用して整備
- ・ 崖地形をフラットにつなぐ歩行者デッキの整備



## 例：上野の将来像 公共空間、民有地一体での歩行者ネットワークの形成（素案） 杜をひろげる 都市機能の誘導と歩行者ネットワークの形成



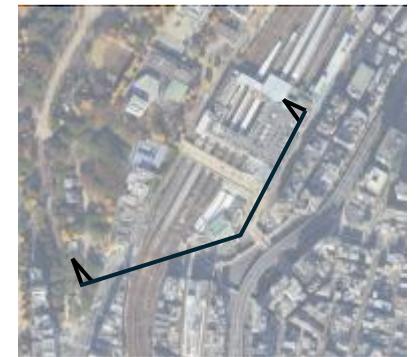
※今後、深度化の検討を進めてまいります

### < 駅施設 >

- 地上、地下における広場空間の創出
- 乗換えコンコースの充実

### < 歩行者ネットワーク >

- 杜とまちの連続性、一体性を確保する東西通路を拡充
- 杜とまちの高低差を結ぶ縦動線を再開発建物空間を活用して整備
- 崖地形をフラットにつなぐ歩行者デッキの整備



## 上野駅周辺の都市空間の再編の方向性 国際競争力の強化の方向性 例 杜をひろげる 都市機能の誘導と歩行者ネットワークの形成

### 上野固有の魅力をのばす

上野が持つ強みをさらに生かすため、上野の杜が有している都市機能をまちへ拡充、連携強化を図る

### 多層階で歩行者ネットワークを形成する

上野固有の魅力を、上野恩賜公園から連続するみどりや公民連携の歩行者空間で繋ぎ、滞留性と回遊性の高いわかりやすい多層階でのネットワークを形成する

#### 文化・芸術・観光交流

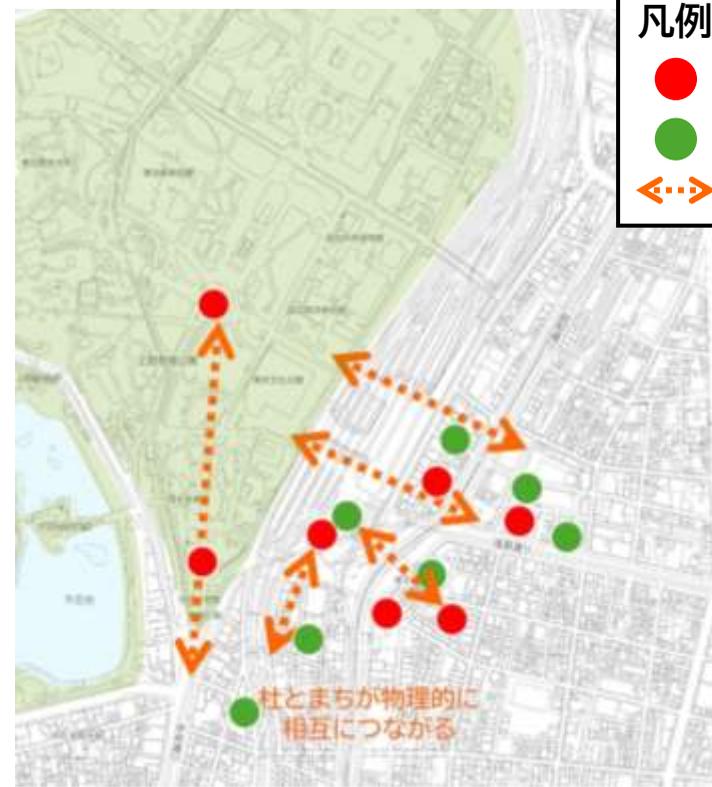
博物館・美術館・大学・産業等の文化資源連携・共創、文化情報発信、国際観光の受入機能（宿泊施設、モビリティ関連）、杜とまちを見渡せる視点場ほか

#### 公園・緑地・水辺の環境

上野恩賜公園と周辺の一体空間整備（公園-いけの一体化ほか）、まちを見渡せる視点場、不忍池周辺の居心地改善、境内林・緑地ネットワークほか

#### 歩行者ネットワーク・滞在空間

東西・南北の歩行者動線、滞在・憩いスペース、ユニバーサルデザイン空間、杜～駅～まちを結ぶひと中心の空間



#### 凡例

- : まちの要素・機能
- : 杜の要素・機能
- ⇄ : 歩行者ネットワーク

# 視点① グリーンインフラ・エコロジカルネットワーク

## 上野における広域緑化緩衝地帯の形成

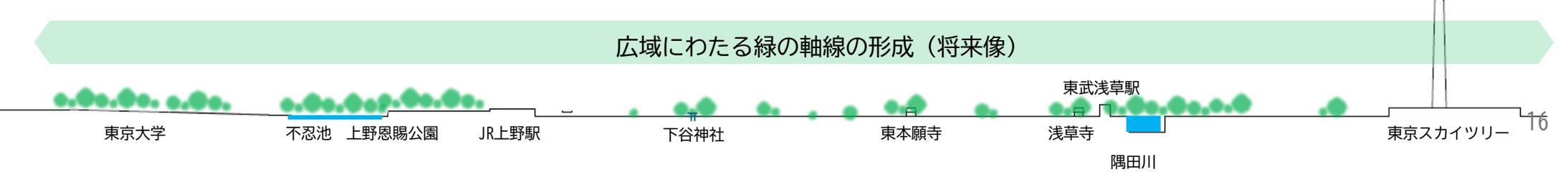
台東区緑被率(2019.3 みどりの実態調査)、文京区緑被率(2024.3 緑地実態調査)、隅田区緑被率(2019.3 緑と生物の現況調査)を合成。そのうえで、台東区都市計画マスタープラン「花とみどり・環境まちづくり方針図」を重ね合わせのうえ一部加筆し作成

特徴的な2つのコア(上野恩賜公園等、隅田川)とその間に位置するコリドー(浅草通り界隈)を基点としたエコロジーネットワークの形成

出典:第6回基盤整備推進部会資料



広域にわたる緑の軸線の形成 (将来像)



## 視点① グリーンインフラ・エコロジカルネットワーク

## 上野らしいグリーンインフラの方向性

上野には大小さまざまな緑が展開されている一方、「中規模で特徴的な緑」や「多様な緑を結ぶ連続的な緑」が少ない

XL

上野恩賜公園をはじめ  
とした超大規模な緑



L

後背地に立地する  
寺社仏閣や公園



M

民間開発等により  
創出されるまとまった緑

S

公共空間の  
街路樹等



大小さまざまな緑を結ぶ連続的な緑

上野らしい緑(広域緑化緩衝地帯)を目指すうえで必要な緑

- ①居住者・来街者が気軽に憩うことのできるヒューマンスケールな緑
- ②大小さまざまな緑をネットワーク化する連続的な緑

# 視点① グリーンインフラ・エコロジカルネットワーク

例：上野の将来像 公共空間、民有地一体での歩行者ネットワークの形成（素案）  
杜をひろげる 都市機能の誘導と歩行者ネットワークの形成

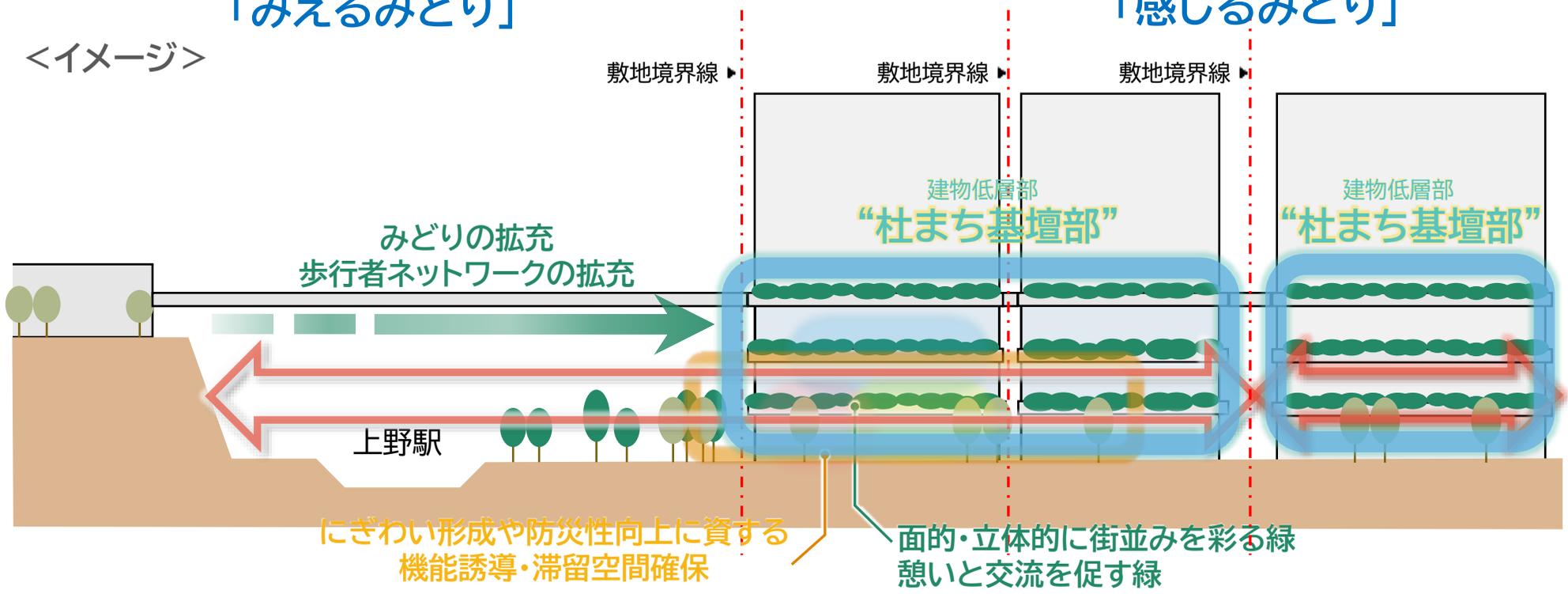
## 上野恩賜公園からみどりが連続し、 杜まち一体の潤いある街並みにより居心地よく、歩きたくなるまち



「みえるみどり」

「感じるみどり」

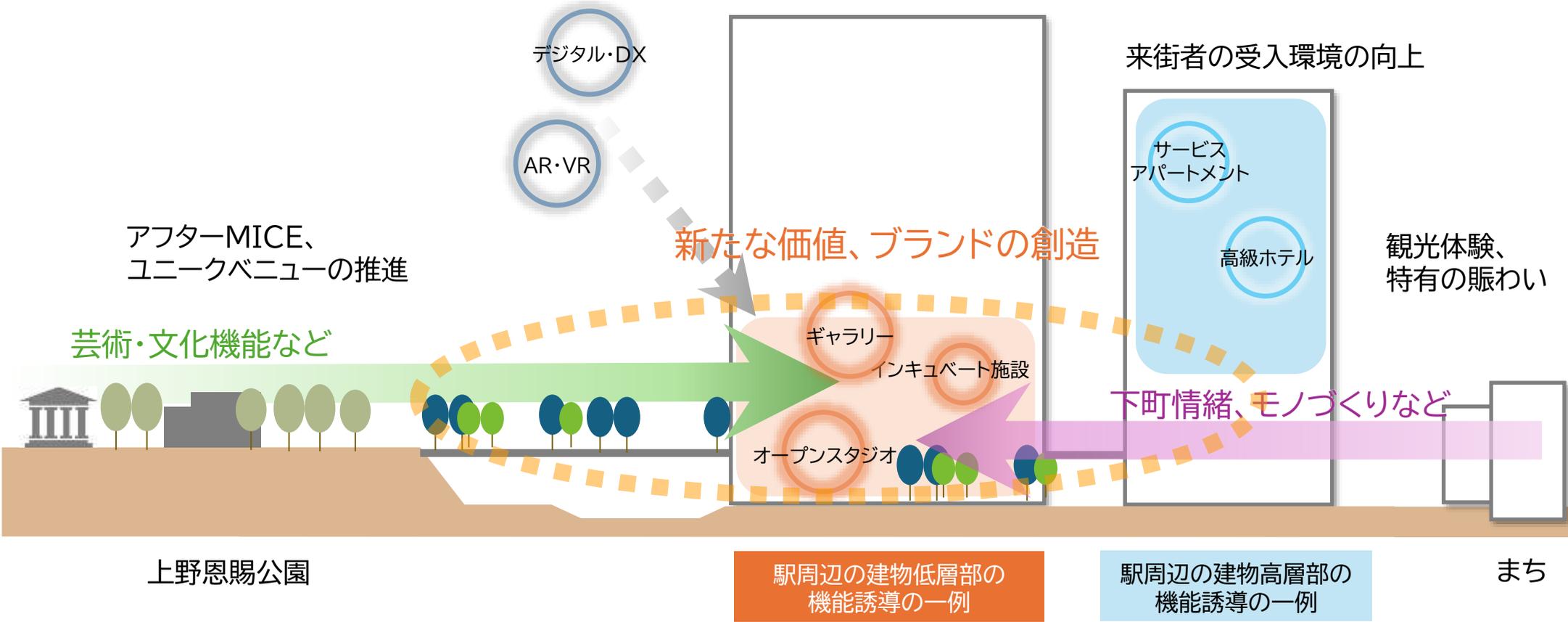
<イメージ>



# 視点① グリーンインフラ・エコロジカルネットワーク

## 例：上野の将来像 公共空間、民有地一体での歩行者ネットワークの形成（素案） 杜をひろげる 都市機能の誘導と歩行者ネットワークの形成

拡充された都市機能と、まちが持っている下町文化、ものづくりの特性を活かし、伝統と革新が交わる場を創出し、そこで新たな技術や価値が生まれ、上野の国際競争力が強化される。



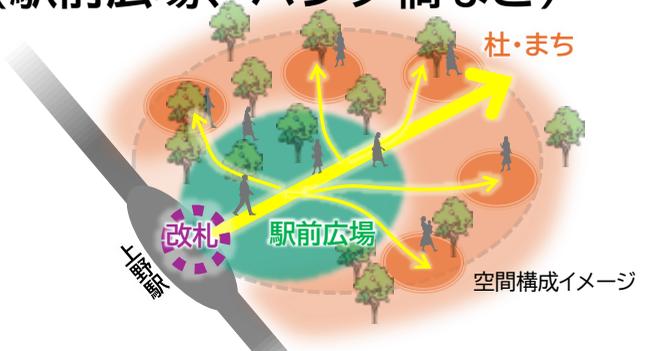
図：上野駅周辺における都市機能誘導の断面イメージ

# 視点② 駅を起点としたひとと中心の空間

## 上野らしい都市デザイン 改札 - 駅前広場 - 杜・まち がシームレスにつながる空間構成

上野公園改札周辺のようなひとと中心の空間が続く場所を増やす (駅前広場、パンダ橋など)

### 駅を起点としたまちの構造



公園改札(公園口—杜(文化施設))



## 視点② 駅を起点としたひと中心の空間

## 上野らしい都市デザイン 見通しが良い上野の特徴を活かした空間構成

## 上野で目指したい姿

## 遠景・中景・近景で要素・機能を構成したシーケンス

## 遠景

上野が有する自然や建造物等  
を活かした都市景観

目印となる上野恩賜公園の  
まとまったみどりや建物群

## ①中央通りから上野恩賜公園を眺める



▶上野恩賜公園のまとまったみどりは視認性に優れ  
目的地方面の目印となる

## ②上野恩賜公園からまちを眺める



▶建物群は目的地方面の目印になるが、  
太鼓橋が視認性を阻害している

## 中景

象徴的なデザインと空間  
を有する縦動線

目的地に移動する際の  
分かりやすい縦動線

〈参考〉渋谷駅“アーバンコア”

まちの顔となる縦動線



## 近景

駅なか～駅そと～杜～まち  
で統一的なサイン計画

行先が明確に分かる統一された  
デザインの案内・誘導サイン

## ①上野恩賜公園内



▶現在は、まちの様子が見えないため  
存在自体認識できない

〈参考〉渋谷駅周辺

駅周辺エリアの統一されたサイン計画



# 視点② 駅を起点としたひとと中心の空間

## 憩い・賑わいの起点となる歩行者滞留空間

**上野に展開される自然景観や  
建造物等を活かした都市景観**

事例：レトロ広場（門司港駅）



出典：ジャパ/PIXTA

**地上・地下・デッキ階など  
多層階に広がる特徴的な広場**

事例（デッキ階）：ペンギン広場（新宿駅）



事例（地下）：渋谷駅東口地下広場（渋谷駅）



**地上・地下・デッキをつなぐ  
魅力的な縦動線・サンクンガーデン**

事例：横浜みなとみらい21



**利便性の高い移動を実現し、  
社⇔まちの回遊を支援する縦動線**

事例：アントワープ駅



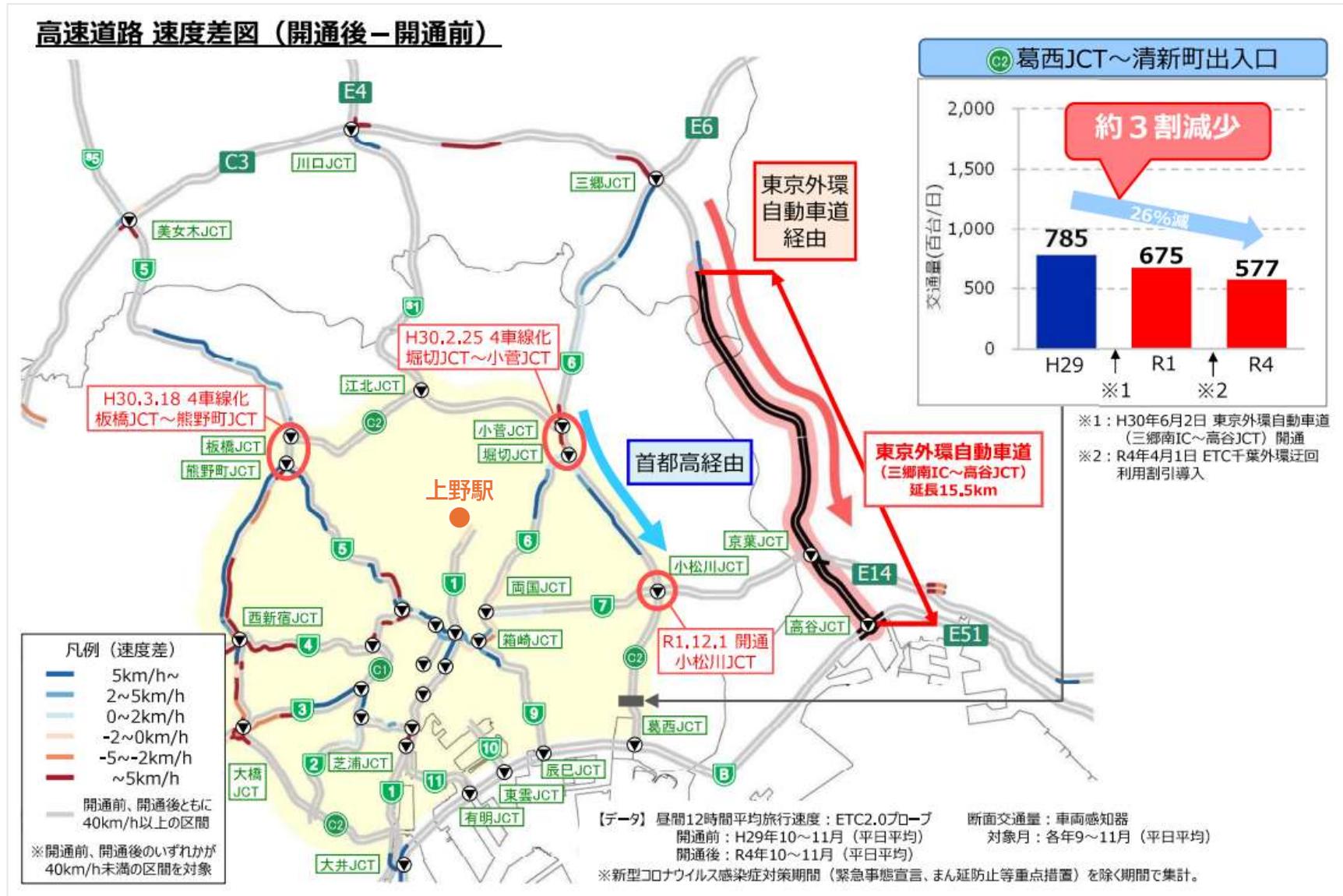


# 視点③ ウォーカブルまちづくり

## 東京外郭道路の整備状況

3環状の整備が進み、交通転換等により、中央環状線内側(中央環状線含む)の渋滞損失時間が開通前と比較して約3割減少する等、広域に渡って交通環境が向上

(参考)東京外かく環状道路(千葉区間)開通5年後の整備効果 (国土交通省 R5.6)

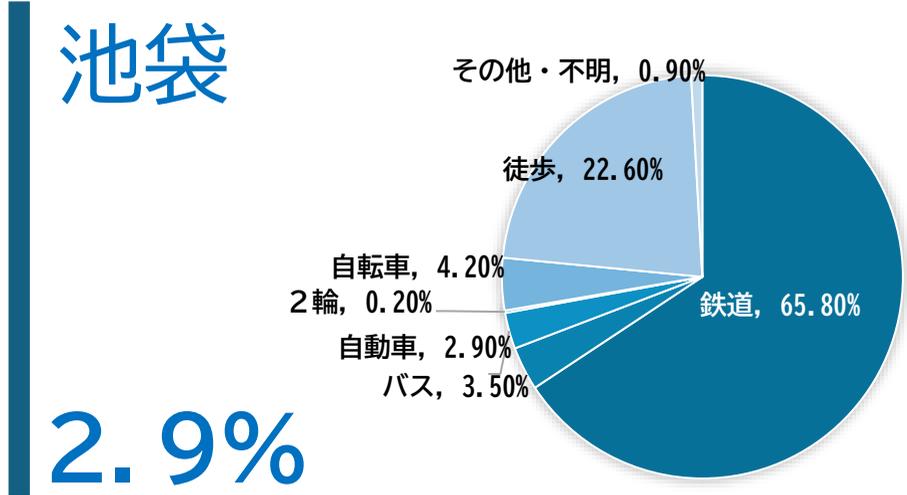
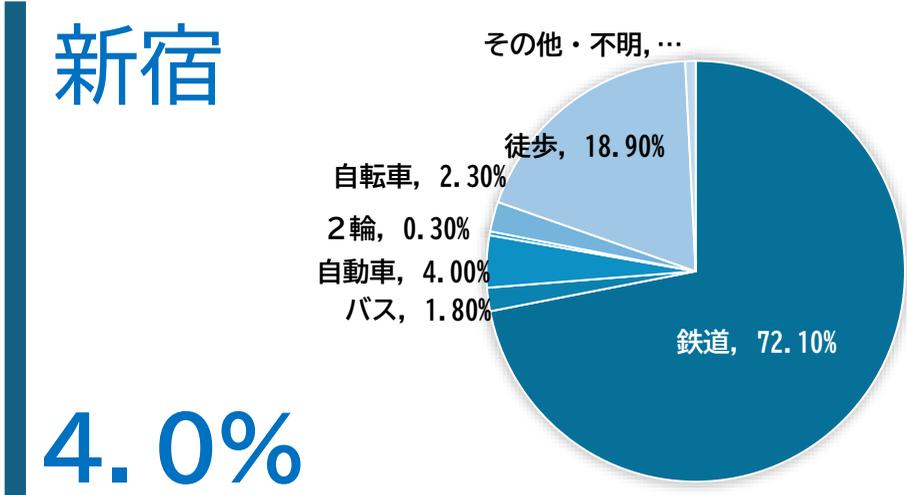
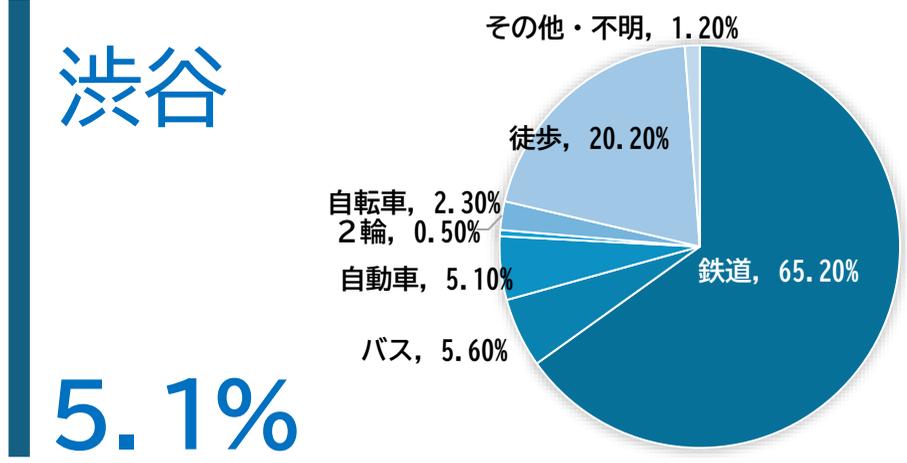
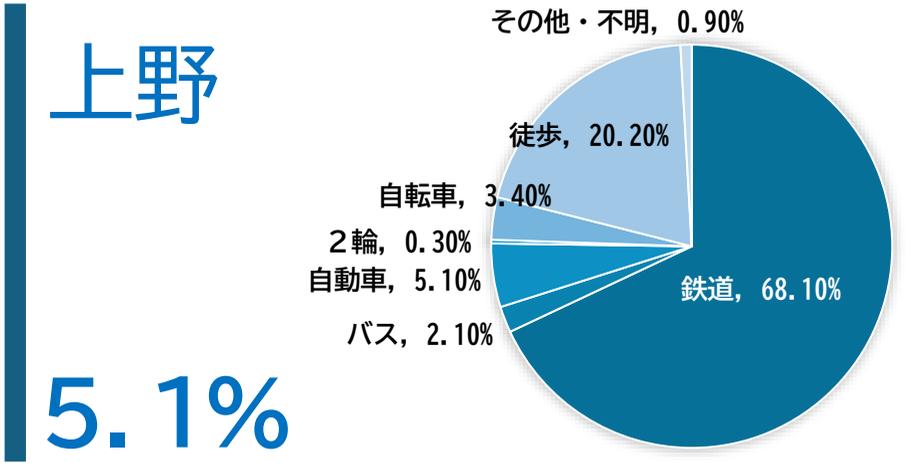


# 視点③ ウォーカブルまちづくり

## 将来の交通分担率案

➔ 上野地区の自動車の交通分担率を現在:5% → 将来:2% を目指す  
(自動車分担率4%よりの下回るのは新宿駅、池袋駅)

<都内他地区事例(PT調査)> 2018PT調査における交通分担率集計 (東京都内主要鉄道ターミナル駅)



公共交通や徒歩への転換を促し、回遊性の高い都市環境を形成

## 車両中心からひと中心の空間への再構築の検討

### 〈広域の自動車交通ネットワーク〉

昭和通り(一般国道)	春日通り(特例都道)	不忍通り(特例都道)	言問通り(主要地方道)
			
〈幅員〉約40m 〈道路特性〉 日光街道を踏襲する道筋で、第1次緊急輸送道路に位置づけられている。	〈幅員〉約22m 〈道路特性〉 文京区と江東区をむすぶ。都市計画道路の優先整備路線に位置づけられている。	〈幅員〉約22m 〈道路特性〉 千代田区と文京区をむすぶ。	〈幅員〉約11m、30m 〈道路特性〉 港区・新宿区・文京区・台東区・江東区をむすぶ環状線。谷中は未完成区間である。

広域の自動車交通を支える道路として車両中心の機能を維持

### 〈ひと中心の空間への再構築の検討〉

駅との近接性や駅前空間の賑わいを活かしつつ、杜やまち、浅草方面との回遊性を一層高めるひと中心のみちへの再構築を目指す

<p>1   不忍通り(特例都道・支線)</p>  <p>不忍通り三角広場ほこみち指定</p> <p>〈幅員〉約22m 〈道路特性〉 支線であり都市計画道路に位置づけられていない。 〈特徴〉 町会・商店会・大学等で構成された「いけまち研究会」が、いけとまちをつなぐ将来像を掲げ、2023年度より道路空間利活用等の社会実験を実施。</p>	<p>2   中央通り(特例都道)</p>  <p>上野広小路ヒロ/文化社会実験</p> <p>〈幅員〉約35m 〈道路特性〉 春日通りと昭和通りをむすぶ。 〈特徴〉 地域の各主体で構成された「上野まちづくり協議会」が、杜とまちをつなぐ将来像を掲げ、2023年度より道路空間利活用等の社会実験を実施。</p>	<p>3   浅草通り(特例都道)</p>  <p>東上野3丁目交差点付近</p> <p>〈幅員〉約33m 〈道路特性〉 上野と浅草をむすぶ。台東区都市計画マスタープランにおいて、ひと中心の都市空間を形成する広域総連携軸に位置づけられている。 〈特徴〉 2024年度末時点で道路空間利活用等に関する取り組みはない。</p>
---	--	--

社会実験や設計等を実施しながら取り組みを推進

今後取り組みの方向性を検討予定



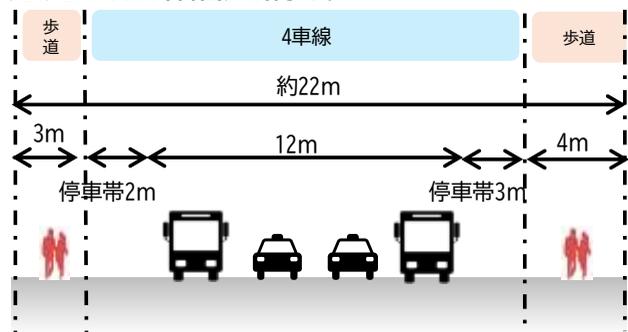
## 視点③ ウォーカブルまちづくり

## 例：ひと中心の空間への再構築の検討の方向性

※道路幅員は、端数処理済み

## 1 | 不忍通り(特例都道・支線)

## ○現況の道路幅員構成



## ○再構築に向けた検討の方向性

不忍池(杜)側とまち側の回遊性向上に向け、歩行者に開放した車道の一部と不忍池のほりを一体的に活用する社会実験を実施。

杜とまちを繋ぐ不忍通りについては、車線を減少するなど、道路の幅員構成を見直し、ウォーカブルな空間を創出。

## ○地元主体の社会実験

今後は地元と連携して将来像の具体化に取り組み、道路管理者である都と調整を図りながら方向性を検討していく。

社会実験時の様子(R7)

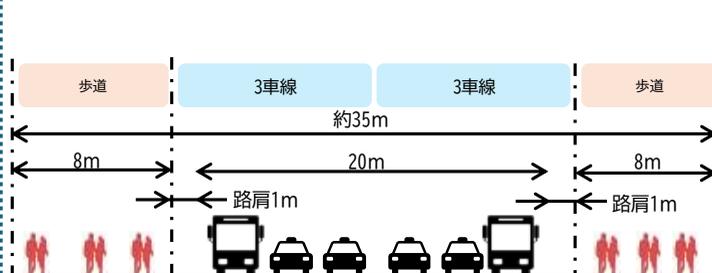


社会実験時の様子(R6)



## 2 | 中央通り(特例都道)

## ○現況の道路幅員構成



## ○再構築に向けた検討の方向性

寛永寺旧参道として象徴性の高い広幅員道路。上野まちづくり協議会と連携の上、杜とまちの回遊性向上に資する主要な南北都市軸として、車線を減少するなど、道路幅員構成を見直し、ウォーカブルな空間を創出。

## ○地元主体の上野広小路ヒロバ化社会実験

将来的な中央通りの歩行者優先の道路空間の創出、杜とまちをつなぎ上野を象徴する玄関口の再構築を目指しR5~R7社会実験を実施。今後、具体的な将来像について協議会と連携して検討していく。

社会実験時の様子(R7)

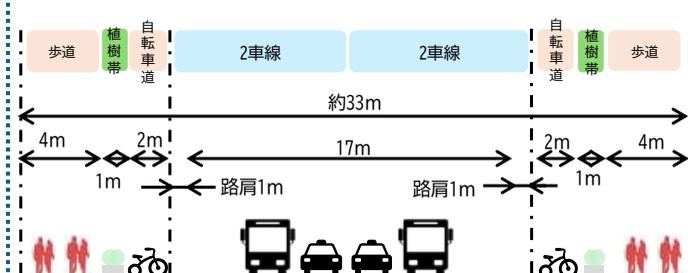


社会実験時の様子(R6)



## 3 | 浅草通り(特例都道)

## ○現況の道路幅員構成



## ○再構築に向けた検討の方向性

上野と浅草をむすぶコリドーとして、様々なみどりをネットワーク化。沿道の民有地の開発にあわせた一体的な緑陰空間・憩い空間を設置。車線を減少するなど、道路幅員構成の見直し、ウォーカブルな空間を創出。

## ○再構築に向けた要素

上位計画や地域特性を踏まえ、「景観」「賑わい」「浅草との連携」「仏壇街」「二次モビリティ」との連携を含め検討していく。

緑陰空間イメージ



例：ひと中心の空間への再構築の方向性

**現状** 「ひと中心の空間への再構築」の検討を目指す中央通り等は、上野駅周辺の大規模駐車場のアクセスルートとなっている。

現状把握から将来の駐車場施設のあり方を検討

(対応の方向性)

- 目指したい将来像の実現のため、上野駅周辺の大規模駐車場の集約化・再配置等の可能性を今後検討する。
- (検討における基本的な考え方)
- 広域の自動車交通ネットワークからのアクセス性に考慮する。
- 上野恩賜公園側の文化施設へのアクセスを考慮する。



## 視点③ ウォーカブルまちづくり

## 上野地区の駐車施設のあり方について

## 現状

- ・上野地区の駐車施設は需要より供給が多く、使われていない駐車場が存在している【参考】現在の乗用車：需要量1,832台<供給量2,237台※
- ・今後の開発等に伴い上野地区のエリア需要に対して過剰に駐車場が増加する恐れがある
- ・商店街エリアでは、路上荷捌きが発生している件【参考】現在417台（台東区全体）※

※台東区駐車場整備計画検討委員会資料（令和7年度）より抜粋

## 現状把握から将来の駐車場施設のあり方及び上野地区駐車場地域ルールを検討



検討案：  
上野地区まちづくりビジョンと駐車場整備地区と重ねた部分

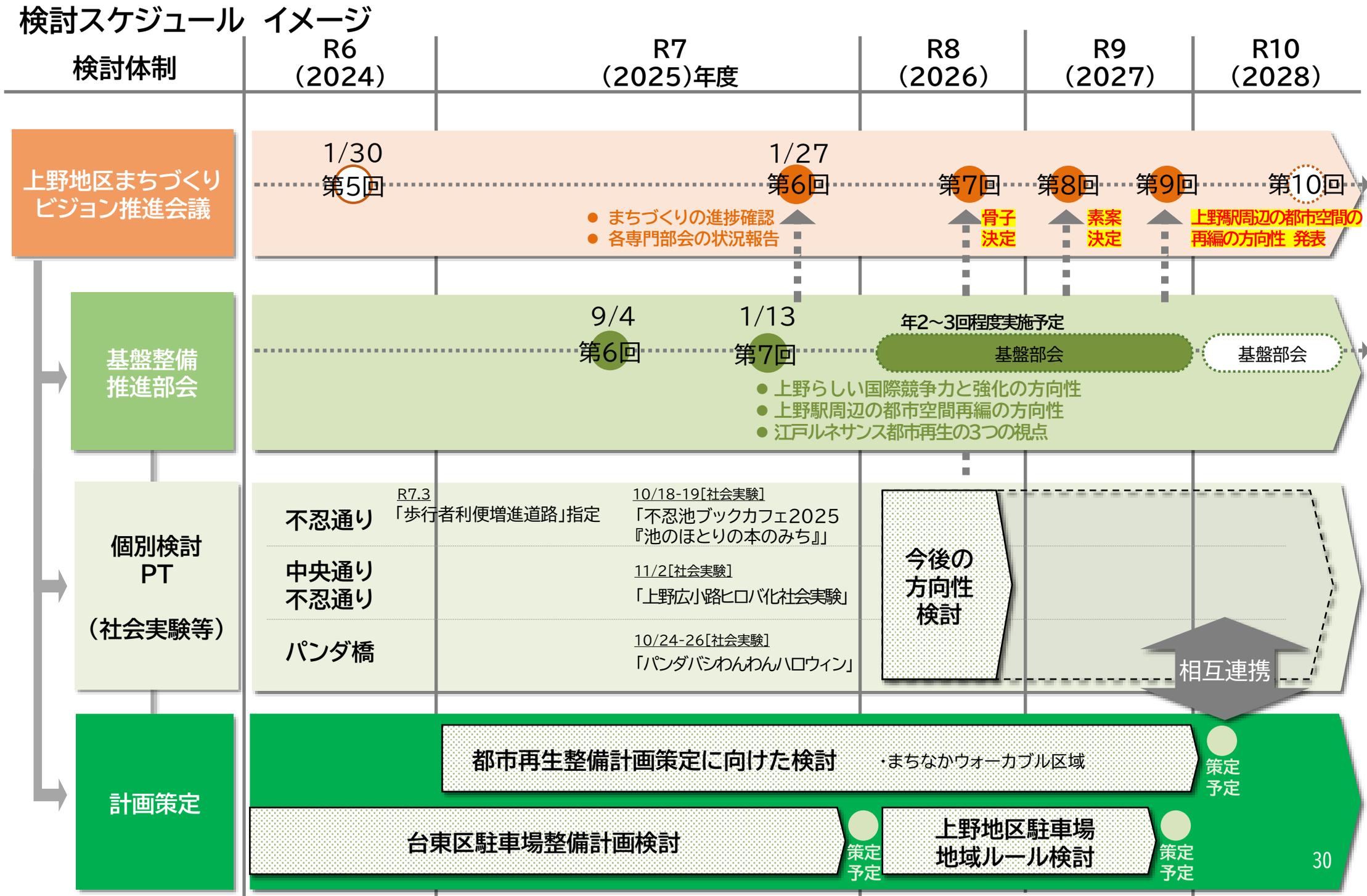
## 中長期的視点

- ・ **大規模駐車場を集約化・再配置**
  - 現状調査を踏まえ、道路空間再編等に伴い、ひと中心の空間に再構築する路線以外(外周道路)からアクセスする位置に、駐車場を集約化・再配置。
- ・ **商店街エリアにおける荷捌きのルールの設定**
  - 道路空間再編等に合わせた、荷捌きルールや集約荷捌き施設等を設定。
- ・ **駅直近エリアでの自動車流入抑制区域の設定・特定路線の設定**
  - 駅直近区域内の自動車流入を抑制し、地域ルール区域外や外周路線沿いの集約駐車場へ隔地確保。

## 短期的視点

令和8年度以降  
地域ルールの調査・検討

- ・ **附置義務駐車場台数の原単位の見直し**
  - 現状調査を踏まえ将来の駐車需要と供給がマッチしたものとする。
- ・ **附置義務駐車場の隔地の緩和**
  - 現状調査を踏まえ、隔地距離の緩和から、既存の駐車場ストックの活用を図る。



相互連携

# 上野駅周辺の都市空間再編の方向性

## ○これまでの基盤整備推進部会(第6・7回)での主なご意見

### (土地利用と基盤整備の連携)

- 上野駅周辺の土地利用の方向性とあわせて基盤整備の検討を進める必要があるのではないかと。

### (グリーンインフラ・エコロジカルネットワーク)

- 民間開発を通じた緑の整備に加えて、跡地活用と合わせた緑の確保も重要である。一方で、崖線としての上野の特性を活かした緑や時間かけて緑を育てていく取組みが上野らしさにつながるのではないかと。

### (駅を起点としたひと中心の空間)

- 上野駅周辺では地上と地下のつながりが感じられる空間があるとよい。一方で、鉄道駅周辺は構造が特殊で制約もあるので、今後は実現可能性も踏まえた計画に落とし込んでいく必要がある。

### (ウォークブルまちづくり)

- 社とまちを繋ぐ取組として、ウォークブルまちづくりの方向性としては理解が得られるのではないかと。具体にどこを・いつまでにつなぐかといったことや、民間企業との連携策についても示していけるとよい。
- 道路空間の再編に向けて、地域の意向を踏まえた上で、区として方向性の検討や関係機関の役割分担を整理するという順番で進められると良い。
- 周辺駐車場に駐車機能を移転・集約する場合には、早い段階から開発事業者による整備を誘導していく必要がある。また、利用者・事業者からみて、使いやすい内容とすることも大切である。
- 上野駅周辺の大規模駐車場は稼働率が高いため、駐車場の再編には代替機能が必要になる。荷捌きやタクシーの乗降などについても、同様の課題がある。

### (全体を通して)

- 上野という東京の拠点をどうするかという長期的な視点を検討すべきなのが、基盤整備推進部会の役割である。
- 中央通りという南北軸だけでなく、浅草通りという東西軸もみえてきた。ここから上野らしい都市再生を進めるために、公共空間など上野の強みを活かした将来像を整理していくことが今後のテーマではないかと。

## ウォーカブルまちづくりの取り組みについて

上野のいけ・もり・まち・えきをつなぐため、道路・公園などパブリックスペースを活用した複数の取組が実施された。

①不忍池ブックカフェ2025



②パンダバシ わんわんハロウィン



③上野大茶会



④光のアートメトロ



⑤上野広小路ヒロバ化社会実験2025



⑥シタマチ.文化祭



⑦Peace of Light



## ①不忍池ブックカフェ2025 池のほとりの本のみち

## 不忍通りにおける歩行者利便増進道路(ほこみち)の指定について

## 「三角広場のほこみち指定」

しのばずいけまち研究会が、不忍通りの三角広場において、「歩行者利便増進道路」の指定に向けて令和5年度から社会実験を実施してきた。その実施結果等を踏まえ、東京都が令和7年3月に歩行者利便増進道路(ほこみち)に指定した。



## □ほこみち指定後の道路空間活用

ほこみち指定後、令和7年7月に不忍池に蓮の花が咲く時期にあわせて、和巡りのイベントとして「しのばず蓮テラス」を開催し、地域の魅力を発信した。

## 開催概要

令和7年7月12日(土) 11:00~18:00  
7月13日(日) 11:00~17:00

主催:しのばず和めぐり協議会/元黒門町会  
共催:池之端仲町商店会/上野2丁目仲町通り商店会/白梅商店会/しのばずいけまち研究会  
協力:東京大学大学院都市デザイン研究室/合同会社ぼたん  
後援:台東区/文京区/上野観光連盟/文京区観光協会





## ②パンダバシ わんわんハロウィン

## 開催概要

令和7年10月24日(金)～10月26日(日)

各日11:00～17:00

主催：上野中央通り商店会

後援：JR東日本/台東区

協力：おでかけわんこ部

ペットをテーマに心地良い居場所及び賑わい・交流を創出することで、パンダ橋の将来像・活用方針の参考にする社会実験。JR東日本が中央通り商店会に貸し出す新たなスキームにより実施。

- 人工芝、テーブル・イス等の設置により居心地の良い滞在空間を創出。区内事業者を含めた30以上のブースの出展、様々なイベントが開催された。
- 東京都が推進する「東京グリーンビズ」と連携し、人工芝、壁面緑化、花卉類、中木の設置により、「上野の杜」が広がった緑・花に溢れた空間を創出。

## □ペットとともに過ごすことのできる居場所・交流空間を創出



主催：上野中央通り商店会 / 後援：JR東日本・台東区 / 協力：おでかけわんこ部

入場無料

みんなでおふろんなで楽しむみんなで作る

わんちゃんも仮装して遊びに来てね

# パンダバシ わんわんハロウィン

2025.10.24 Fri. - 10.26 Sun.

11:00-17:00

場所：JR上野駅 入谷改札外 パンダ橋

パンダ橋の一部に芝生エリア登場！  
ペット関連・飲食関連30ブース超出展！

※写真はイメージです

飲食ブース	ペット関連ブース	JR東日本 おんたつみ団 ANNEX1
休憩エリア	イベント エリア	おでかけ わんこ部 最新フォトコンテスト

盛りだくさんの芝生のイベントエリア(予定)

ドッグダンスショー&体験会 (10月24日のみ)	仮装わんこ集合写真会 (お散歩土曜だけ)	アクティブウォーク 体験会
-----------------------------	-------------------------	------------------

詳細はこちら

おでかけわんこ部

※この取り組みは、ペットをテーマに心地良い居場所及び賑わい・交流を創出することで、パンダ橋の将来像・活用方針の検討の参考にする社会実験です。みんなで作ってあげましょう！！

## ③上野大茶会

## 開催概要

令和7年10月25日(土)

11:00~16:00

主催:東京メトロ

後援:台東区

- 東上野4丁目駐車場とジュエリーブリッジを活用し、茶道体験のワークショップ等を実施。また、同日開催の別イベントと連携したスタンプラリーを開催し、杜とまちの回遊性向上につなげる取組を実施。
- 雨にも関わらず、ジュエリーブリッジで行われたお茶の配布や東上野4丁目駐車場で開催されたワークショップでは多くの人が参加。

## □ジュエリーブリッジではお茶の配布が行われた



## □東上野4丁目駐車場で開催された茶道ワークショップ



伝統文化を体験

日本の代表的

Experience Japan's Representative Traditional Culture

上野大茶会

Grand Tea Ceremony

参加無料  
Participation is free

予約不要  
No reservation needed

2025 10/25 (土)

今年! 東上野4丁目駐車場  
今年! 上野駅前ジュエリーブリッジ

【開催時間】11:00~16:00 雨天中止

文化の街、上野で伝統を味わう

## 開催概要

令和7年11月1日(土)  
14:00~18:30

企 画: 藝を育むまち同好会  
運 営: 藝を育むまち同好会  
協 力: 東京メトロ、上野観光連盟

- ・袴腰広場にて東京メトロの遺失物として廃棄予定だったビニール傘を活用し、LEDライトで装飾するワークショップを開催。
- ・日が沈んだ後に、ワークショップにて作成した自作の傘を差しながら夜の上野恩賜公園を練り歩くことで、まちに彩りを与える企画を実施。

□袴腰広場でのワークショップ



□作成した傘を用いたナイトパレード



○ナイトパレードルート



## ⑤上野広小路ヒロバ化社会実験2025 上野博覧参道

## 上野広小路ヒロバ化社会実験2025 上野博覧参道

令和7年11月2日(日)

11:00~16:00(車道部以外は20:00まで) ※交通規制時間9:00~18:00

主催:上野まちづくり協議会

共催:台東区

参画:アメ横商店街連合会、上野中央通り商店会、上野中通商店街振興組合、上野文化の杜新構想実行委員会、ジュエリータウンおかちまち、藝を育むまち同好会、食べないと飲まナイト実行委員会、2K540、PARCO-ya上野、未来定番研究所、ゆくい堂、YOUNES

社とまちの回遊性向上を目的に、中央通りの車道を歩行者空間として活用。今年度は創建400年を迎えた寛永寺の旧参道であることを踏まえ、テーマを「上野博覧参道」とし、中央通り周辺の各団体による飲食・物販等の出店やワークショップ等を実施することで上野全体の魅力を表現する空間となった。

・車線を交通規制した区間では、ファニチャーや緑の設置により、飲食や談笑を楽しむ場として利用されていた。

・車両通行止め区間では、ステージでの音楽演奏やテーブル・イス・人工芝の設置により、居心地が良く、歩きたくなる滞在空間が創出された。



## □ファニチャーや緑の設置により賑わいを魅せる車線規制区間



## □人工芝等の設置により居心地の良い滞在空間が創出された車両通行止め区間



## 寛永寺との連携

前頁のほか、**創建400年を迎えた寛永寺との連携**として

①寛永寺根本天井絵の限定先行公開や②寛永寺×藝育会のワークショップなどが開催された。

### 1. 寛永寺根本中堂天井絵の限定先行公開

寛永寺創建四百周年記念事業として、東京藝術大学名誉教授・手塚雄二画伯による天井絵「叡嶽双龍」が根本中堂に奉納。その天井絵一般公開(12月1日～)に先立ち、本社会実験と連動したデジタルスタンプラリーの参加者に、天井絵を限定先行公開



### 2. 寛永寺×藝育会 ワークショップ

寛永寺から使い残しの廃蠟燭を提供いただき、キャラクターキャンドルを製作する体験型プログラムを袴腰広場にて実施した。

キャラクターキャンドル制作を通じて、蠟燭の儚さから、物や命に対する愛着心や尊さを感じてもらい、最後まで物を大切にする責任感や思いやり、感性を育むプログラム。



## ⑥シタマチ.文化祭

## 開催概要

令和7年11月1日(土)～11月3日(月)  
各日11:00～17:00

主催:御徒町駅南口商店会  
後援:台東区  
協力:松坂屋上野店、御徒町駅、PARCO-ya上野、有限会社ライズアップ他

御徒町パンダ広場を活用し、ステージ、飲食、職業体験ブースが設けられ、多くの人により賑わいをみせた。

- ・イベントステージでは、地元学生による演奏やダンスにより盛り上がりを見せた。
- ・ほかにも御徒町駅開業100周年に伴うJR東日本との連携、職業体験ブースや藝大生との壁画作成など、子供たちが楽しめる多彩なプログラムが実施された。

## □地元学生等による演奏で盛り上がりを見せたイベントステージ



## □職業体験や藝大生との壁画作成



## 開催概要

令和7年10月31日(金)～11月3日(月)

主催:一般社団法人上野観光連盟  
後援:台東区、J-WAVE  
協力:東京メトロ

レーザーライトにより彩られた不忍池では飲食ブースや音楽イベントの他、上野初のドローンショーが行われるなど多くの人々が訪れた。  
・水上音楽堂やイベントステージ、飲食エリアには昼夜を問わず多くの人々が来訪。レーザーライトも相まって幻想的な空間となった。  
・2日間限定で開催されたドローンショーでは、時より多くの観覧客の歓声上がるなど、盛り上がりを見せた。

□飲食ブースや音楽イベント等により賑わいが創出



□11/2・3限定で行われた不忍ドローンショー

